
ちらちらと。

しらゆき

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ちらちらと。

【Nコード】
N5059M

【作者名】
しらゆき

【あらすじ】

忘れられない人との思い出がある、いおり。

毎日、その人の事を考え、苦しみ、悲しむ。 ”雪”を見ながら。

そんな時、ある所で”雪”を眺めていたおりの目の前に、同じように悲しそうな瞳で雪を見つめている男に出会って…？

切ない想い

ちらちら、舞う雪。

それは小さく、白く、冷たい。

私は、その雪を見るたびに、あの人のことを思い出す。

忘れなくてはならないのに…。

早く。

記憶の中からも、心の中からも、
消し去らなくてはならないのに…。

でも、なかなか消えない。

忘れられない。

どうしても。

忘れようとしても、無理。
すぐ思い出す。

だから、舞う雪を見ながら、私は願う。

…どうか、幸せになってください。

あの人と、幸せになってください……と。

その願いは私の心にとっては痛い。

ズキズキと痛む心。

想い。

これは、”幸せ”をちゃんと願えてない証拠。

この切ない想い。

それを治すには…

どうすればいいのだろうか。

想いの行く先

こんな私の想いは、どこへ行くのか…？

こんな、醜い醜い私の想いはどこに行くのか…

自分でも、分からない。

本当に。

あの人は私のそばにいないはずなのに、近くにいると錯覚してるから。

何のために自分の幸せより相手の幸せをとったのだろうか。

本当に、自分の気持ちが分からない。

多分、もしもあの人が私の前に現れて。

私の姿を見たら。

きっと、幻滅するでしょう。

近づきたくなくなるでしょう。

哀れな私に。

……情けないマイナス思考。

悲しくなる。

もう、考えるのやめた。

力チ…。

『今日のニュースです…』

特にする事もないからテレビをつける。

テレビでも観て、気を紛らわせよう。

『…で、…が発生しました』

『……はい。嬉しいニュースですね。そうなんですか？ 私もです。…次は天気予報です』

今の私の目にはアナウンサーの人たちのちょっとした会話や言葉、笑顔がなんだか嘘臭く見えてしまう。

でも、最後の”天気”という言葉がやけにはっきりと耳に残った。

明日の天気は…

観ようと思ったが、アナウンサーの声を聞きたくないのでゆっくり無音に設定した。

……

チラッと画面に目を向けた。

…。

その時には既に遅く、週間予報に切り替わっていた。
自分の地域の所を探す。

そこには太陽のマーク。

つてことは…。

明日は…晴れ、ね…。

なんだか悲しくなる。

……でも、空の様子を絶対に予測できるものではない。

だから、雪は降る可能性はないわけではない…。

かすかに期待をよせた。

なぜ、諦められないのだろう。

私は思ったより相当ひねくれていて、しつこいようだ。

これじゃ、あの人の幸せもきちんと願えないはずだ。

そう考えている私の心は、行く先をさ迷っているのだろう。

”自分”が分からなくなった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5059m/>

ちらちらと。

2010年10月15日23時26分発行